

Rising Moon



穏やかな日差しに春を感じる今日この頃、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今日は令和6年度の最終日、修了式でした。保護者の皆様は、お子様の1年間の成長を実感しておられることと思います。一方、中学生の時期はいわゆる“思春期”、そして、“反抗期”。成長を頼もしく思う反面、子育ての難しさを痛感している方もおられることでしょう。とはいえ、これからの子どものさらなる成長を信じ、引き続き支えとなっていきましょう。本日ここに、教育相談だより「Rising Moon」最終号を発行しました。一年間お読みいただきありがとうございました。

自然の移り変わりを楽しむ春休みに



9年生が卒業してから2週間余り、卒業式がずっと昔のように思えます。そして、今日は在校生にとっては今年度最後の日でした。時の流れの速さを感じますね。

先ほどの修了式で歌った校歌、我が母校の校歌を誇らしげに大きな声で歌えたでしょうか？修了証を見て、何か感じたものがあったのでしょうか？

今、こうして皆さんの制服姿を見ていると、7年生は入学式の日姿と違って体にピッタリと合って似合っています。また、8年生は少し窮屈な制服になっている人もいることでしょう。それだけ、この一年間に体の成長があったのです。それと同じように、皆さんの知識は増え、知恵はつき、心も大きく・強くなりました。

明日からの春休みは14日間あります。桜の季節を迎えましたが、桜の花だけでなく、山の色移り変わり、日ごとに輝きを増していく川面、飛び交う野鳥の種類の变化など、自然の移り変わりを楽しむ春休みにしてください。ぜひ、美しい自然を求めて出かけてみてください。新たな発見があるかもしれませんよ。

では、豊かになった心と強さを増した心で、また4月8日に会いましょう。



ステップアップルーム (SUR)



年度当初にご案内した本校のステップアップルーム(以下、SUR)について、今年度の状況をお知らせします。SURは、在籍する学級での学習や集団での生活が困難となった生徒の支援を行う特別な教室に、専属の教員(サポート教員)を配置し、個別の支援を行い、学級への復帰に向けた国の不登校対策事業(COCOLOプラン：誰一人取り残されない学びの保証に向けた不登校対策)です。配置校における不登校の未然防止にも取り組み、不登校生徒数の減少をめざしています。*今年度は、不登校生徒数が昨年度と比べて減少しました。

本校のSURには、今年度は最大14名の生徒が登録し、平均6~7名の生徒が通室していました。長期間欠席が続いていたある生徒はSURに通室を開始してからはほとんど毎日登校できるようになり、熱心に学習に取り組み、テストでも高得点をとりました。SURでは自学自習が基本ですが、サポート教員の専門教科は個別指導(1対1)を行っています。また、他教科の教員も来室し、サポートをしています。

通室生の中には、特定の教科を教室で受けたり、学年行事などにも参加したり、昼休みなどで友人と話したりして級友とのつながりができ、最終的に学級に復帰した生徒もいました。

来年度も本校にはSURが設置されますので、学級での学習や集団での生活困難になった場合は、ぜひこのSURを利用してください。なお、SURに通室した場合は、「出席扱い」です。

【参考】 令和6年度：山口県全体で25中学校に配置 うち、岩国市は3中学校に配置

うちの子、ゲームばかりでちっとも勉強しないんです！

見出しの相談は、昔も今も変わらない親の叫び声です。近年は、ゲームコンテンツの充実やオンラインゲームの登場により、以前よりも相談の深刻度が増しているようです。

ゲーム依存から学校に行かなくなり(不登校)、進学もせず、卒業後も家に引きこもる中学生がいます。中には、ゲーム中毒になり、専門の病院で治療を要する中学生もいるようです。

そこで、今号では、年度末にあたり、この問題を保護者の皆様と共有したいと思います。

【引用：オンライン家庭教師 peace(ピース) 教育界プロ みゆ先生】

●中学生はなぜ、ゲームしかしないのか

- ・ゲームは楽しいし、「楽」だから
- ・ゲームは友達との話題になるから
- ・残念ながら、勉強はゲームとは真逆……
- ・ゲームのほかにやることがないから
- ・ゲームは承認欲求を満たしてくれるから

●中学生はゲームの何が楽しいのか

- ・つい先に進めたくなる仕掛け
- ・達成感を得られるゲーム展開
- ・わくわくするミッションやクエスト
- ・サブストーリーなど随所にある小さな楽しみ

●中学生にとって「ゲームは悪！」でもないかも

- ・ある程度ゲームをする生徒の方が成績がよい!?
- ・開成生の9割はゲーマー!? *有名進学校 開成中学校
- ・ゲームが将来につながる!?



●そうは言っても……。ゲームにのめり込む中学生に親が心配なこと

- ・視力低下
- ・生活リズムの乱れ
- ・成績低迷
- ・ゲーム依存症

*「ゲーム依存症」とは、① ゲームの時間や頻度をコントロールできない ② 日常生活でゲームを最優先にする ③ 問題が起きてもゲームを継続、エスカレートさせる

●中学生がゲームと適度に付き合えるようになる方法

- ・家庭内のルールを「子どもと一緒に」決める
 - ゲームに関するルールは、親子で、できれば子ども主体で決めるのがゲームと上手につき合っていくコツです。
- ・親子の会話を増やす
 - ゲームにのめり込む子を見てあきらめるのではなく、積極的な会話を心がけましょう。「どんなゲームをしているの?」「どんな点が面白い?」と尋ねると、会話に乗ってきれるかもしれません。話してくれた内容は否定・批判しないよう気をつけましょう。
- ・ゲーム以外に夢中になれるものを見つける
 - 子どもと一緒に、ゲーム以外に楽しいと思えるテーマを探してみましょう。勉強や部活は難しいので、科学館や博物館、工房などに出向いて新しい興味を見つけましょう。
- ・ゲームをやりたいなくなったときの“ストッパー”を作る
 - ゲームに“つい”手が伸びるのを防ぐために、ゲームが気になり出したら別の行動で衝動を紛らわすのもよいアプローチです。
例えば、ゲームをしなくなったら冷水で顔を洗う・散歩に出る・お茶を飲む 等

●頭ごなしはNG! 親もゲームを理解する姿勢が大切

- ・ゲームもYoutubeも、のめり込む基本構造は同じ
 - とともに、大人たちが知恵を絞ってのめり込むように作っています。スマホやSNSなど、勉強を邪魔するものは次々現れ続けます。便利なツールを子どもに与える前に、「与えたらどうなるか」を想定し、手を打っておくことも大切です。
スティーブ・ジョブズ(Apple創業者)は自分の子どもにiphoneを与えず、ビル・ゲイツ(Microsoft創業者)は自分の子どもが14歳になるまでスマホを与えなかったといえます。
- ・知識をアップデートし、子どもと対等に話せるようになっておく
 - ゲームはもはや単なる娯楽の域を出ています。親の世代が子どもの頃にプレイしていたゲームと、もはや別物。常に知識をアップデートし、子どもが夢中になる理由を理解するよう心がけましょう。

《まとめ》 ゲームが世の中に登場した時から、「ゲーム×子ども×勉強」は親の悩みの中心でした。近年はテクノロジーの進歩により、昔より中毒性の高いゲームが数多くリリースされ、子どもの依存を高めています。子どもがゲームをやりすぎでは? と心配になったら、まず子どもの話をよく聞くことから始めましょう。子どもを理解する姿勢が大切です。もしかすると、何らかの悩みを抱えているかもしれません。また、頭ごなしに否定せず、最新のゲーム事情を把握しましょう。ゲームをしていたから効率的な勉強法を見つけられた、ゲームをしていたから将来の夢ができたなど、ゲームがきっかけで自体が好転することも考えられます。

今年度最後の記事は、7年生・8年生のお子様をもつ保護者の皆様に、2週間後に迫った「進級」という次のステップのに向けた情報をお知らせします。ご家庭で話題にしてください。

～ 7年生の保護者の皆様へ ～

7年生のまとめと8年生への準備



ついこの間入学したわが子が、もうすぐ8年生になるという、親としての感慨はわかるような気がします。この一年間、わが子は中学生としてどう過ごしてきたのでしょうか。健康で安全な生活が送れたのでしょうか。勉強や部活動、学校行事などへ積極的に参加し、満足できるものだったのでしょうか。基本的な生活習慣（あいさつ・掃除・授業集中・言葉遣い・ルールを守るなど）は身に付いているのでしょうか。

これからの中学校生活をさらによりよいものにしていくために、子どもにこの一年間を振り返らせ、気持ちを新たにして8年生を迎えることが大切です。

そこで、次のような点について子どもに一年間をチェックさせてみてください。

- (1) 中学校に入学したときの抱負は実行できたか。 [A B C D E]
- (2) この一年間、よい友だちをつくることができ、充実した生活を送ることができたか。 [A B C D E]
- (3) 授業中、積極的に学習に参加し、ほとんどの教科が理解できるようになったか。 [A B C D E]
- (4) 部活動や学校行事などに積極的に参加することができたか。 [A B C D E]
- (5) 将来の希望をしっかりとち、自分の特色を理解し、進路の計画を立てることができたか。 [A B C D E]

また、8年生への準備としては、中学校での中堅学年であるという自覚をもたせることを心がけさせることが大切です。4月に入学してくる後輩の「よき手本」となってほしいのです。

～ 8年生の保護者の皆様へ ～

8年生のまとめと9年生への準備



お子様は、本日、中学8年生を修了しました。この時期に今までの一年間の反省と9年生への心構えをさせておくことは、子どもにとっては非常に大切なことです。来年は、親として最も子どもの行動に一喜一憂する年となるはずです。そのときにあわてないためにも、今、この「まとめと準備」が必要なのです。9年生という学年は、中学校の学習の総仕上げの年であるとともに、義務教育終了の年でもあります。また、進路に関しては、進路先を選択しなければならない、人生にとっても重要な年でもあります。小中一貫教育における“ゴールの姿”に到達してほしいと思います。

そこで、次のような点に留意して子どもとともに考えてほしいと思います。

【今年一年の反省】

- (1) 一年間の学習について反省させる。(授業態度・家庭学習)
- (2) 学校での生活態度を反省させる。(きまり、遅刻、諸活動への取組)
- (3) 学校での諸活動への参加を反省させる。(生徒会・係・当番活動、儀式・体育祭・文化祭などの行事への取組)
- (4) 進路について反省させる。(働くことや学ぶことの意義の理解、働くことの目的や意義の理解、学ぶための制度や機会の理解、自分の適性や特性のまとめ、進路計画の再検討)



【9年生への準備と心構え】

- (1) 中学校での最高学年として後輩を指導していかなければならないこと！
- (2) 卒業学年として、学習の総まとめをしなければならぬこと！
- (3) 進路を選択し、決定しなければならぬこと！

* 8年生は、「上級学校を知る」と題して、進路学習を行いました。この学習を通して、来年受験するであろう高等学校についての情報を得てほしいと思います。目標をもつことは、早ければ早いほどよいです。

